



熊本市保育園連盟 保育士会

こんにちは！保育士会です



R5年度

がっ

今年は例年に比べ梅雨入りが早かったですね。

小雨の中、傘をさしてかたつむりを探してみたり、バケツに雨水を集めてみたり……。雨の日ならではの発見や気づきも探求心や好奇心、更には思考力や豊かな感性につながっていきますね。子どもたちの言葉を受け止め、一緒に楽しんでいきましょう。子どもたちが見ている世界、感じていることを共有できる保育の場って幸せです。研究大会の豪田監督のお話から再確認できましたね。

5月末の研究大会も、たくさんの先生方のご参加ありがとうございました。

また、永年勤続受賞の先生方、おめでとうございます。これからも一緒にこどもの育ちを支えていきましょう。

令和5年熊本市保育園連盟 保育研究大会

『傾聴から生まれる質問力』 監督 豪田トモ氏 (映画「こどもかいぎ」)

・映画撮影を通して「保育士さん以上のスキルを持った人はいない！」と感じた

例えば 2歳児 「お友だちがまた、たたいてるの・・・」たたいた子をぎゅっと抱きしめる姿
自転車に乗りたいた子と一緒に「誰かかわってくれないかな・・・」と寄り添いながら待つ

・こどもってすごい！素敵な存在

一生懸命笑わせてくれる、癒してくれる、喧嘩してもすぐ仲直り

・子ども会議を通して

ルール 全員がしっかり話を聞く できる限り全員が話す機会をつくる 話さない子の存在も尊重

子ども会議の効果 こどもの個々の能力が爆上がり⇒聞く力、話す力、集中力、思考力、想像力、理解力
発想力、語彙力、共感する力、多様性

子どもが心理的にポジティブ、安全な場をつくれる⇒何を話しても叱らない、受け止め
てもらえる＝心地よい「居場所」

保育者のコミュニケーション力もアップ⇒知らなかった子どもたちの世界や心の内を知る
＝大人と子供の相互理解が進む

テーマ 最初の半年くらいは 日常のトピックやイベントなど身近なもの

テーマ系 「なんで生まれてきたの？」等哲学的なものは子どもが慣れてきてから

保育者は、こんな子どもたちの対話を聞ける立場にある素敵な仕事



令和5年度研究大会資料は・・・終わった研修ではなく、今日からの保育に活かせるものです。こども家庭庁に関すること、コロナもトラウマの1つ、アタッチメント、なんか不器用（発達性強調運動障害）、幼児教育などこれからの現場の課題や、保育の安全（不適切保育、保育事故など）、乳児保育や実践研修など身近で大切な保育の内容、安全な給食や食を通して健康を守ること、こどもの育ちを促すなど園の専門職同士の連携を促すツールとしてご活用ください。

○保育事故が続いています！

遊具の事故、離乳食の事故・・・初めての時、場所、物は要注意です。（研究大会資料 保育の安全研修をぜひ読み返してください）様々なガイド、ガイドライン等書かれている内容は保育者は知っていて当たり前！その通りに対応できて当然！と受け止められます。時々手に取って読む、研修で内容を深める、職員間で共有することが大切です。どんな時？どんな事故？うちは関係ないではなく、分析をする。

各ブロック主任主幹・代表者会議 各ブロック様々な意見交換ができたようです

- ・コロナが5類になって・・・行事、マスクや保護者との接触、保護者との面接、地域交流どうする？
↳慎重にしたい園ともう大丈夫でしょ？ととらえる保護者のギャップ
- ・リンゴの事故報道を受けて、保護者から「離乳食をみせて欲しい」、団子汁などのメニューは？
- ・ICT活用・・・慣れるまで難しい？
- ・職員のコミュニケーション、休憩時間の確保 など

5ブロック合同研修会 R5.6.9（ロックの日！）に、熱く 開催されました

講師 あげぼの愛育保育園園長 北九州市保育士会会長 全国保育士会筆頭副会長 北野久美氏
テーマ「こどもまんなか社会」ってなんだろう～視点はいつも子どもたち～

- ・保育の現場＝子どもの健全育成、保護者の就労支援、地域における子育て支援

災害時（台風、大雨）病気の流行（インフルエンザ、コロナ禍）でも休まないで頑張ってきた
人手不足、蓄積疲労、忙しい、人間関係（ジェネレーションギャップ、離さない、なれ合い）



だからと言って虐待をしていいわけではない

八つ当たり、ストレス解消、なれ合いの矛先が子ども!? こんなあり得ない！不適切保育✖

- ・国から出ているガイドライン・・・感染症、アレルギー、授乳離乳のガイドなどなど



保育のプロだから知っていて当たり前

- ・全国保育士会倫理綱領＝行動規範・・・専門職には必須！
- ・こどもまんなか社会・・・すべてのこどもたち

そのために必要な知識とスキルは？

そのためにどう発信？どう発言？

学び続けること、保育者の地位、社会的地位・・・たたずまい

子どもが幸せであるために、その傍らにいる私たち保育者が笑顔でHAPPY であることが大事！

（感想）とてもパワーをいただきました！子どもにとって適切な保育とは、を考える機会になりました。専門職として「知らなかった」では済まない！学び続けたいという気持ちが強くなりました。「忙しい」という理由で子どもの思いに耳を傾けていなかったのでは、同僚に対してはどうだったか。「こどもまんなか社会」一人ひとりを大事にするは大人も同じ。「プロ」として働きたい！「私のあれ」と「あの人のあれ」は違う、コミュニケーションをしっかりとチーム（園、クラス）の質を高めることが大切！等

【まもなく開催】

保育士会・給食部会役員がただいま講師と研修の打ち合わせをしたり、会場との打合せを進めています。忙しい中、会員を代表して準備を進めています。会員みんなで作る研修や行事です。次はあなたの番かも！ご参加ください。

- ・5ブロック保育士会・給食部会合同研修（7/28(金)）町村純子先生

内容 離乳初期について、離乳食の進め方、水分をなかなか取れない子どもへの対応、発達がゆっくり言葉と食事・マッサージ、手づかみ食べ、食具（スプーン、フォーク、箸）の選び方、舌のトレーニングありますか？早食いの子、丸呑みの子への対応 など

- ・西部、東部合同（7/6(木)）ビジネスマナー研修

- ・南部ブロック おおわだ保育園視察研修（大阪 門真市）（7/3(月)）



コロナが5類になって・・・

インフルエンザ、コロナ、RS ウイルス、感染性胃腸炎なども増えています。手洗い、うがいを丁寧に、換気を上手にしながらこどもたち、自分たちを守っていきましょう。研修も必要に応じてマスクの着用をお願いします。